

女性と社会のつながり支援事業【福岡県】

総事業費	4,653千円
交付金額	3,489千円

地域の実情と課題

- 長引くコロナの影響により、生活環境の変化、女性が多い非正規労働者の収入減による将来への不安、DV被害の増加や深刻化の懸念など、女性を取り巻く様々な困難さが増大し、社会とのつながりが希薄になっている。
- また、困難や不安を抱えながらも自ら支援を求めない女性に対して、様々な専門機関の支援が届きにくい状況となっている。

目的・目標

様々な困難や不安を抱える女性が、NPO等民間団体によるアウトリーチ型支援により、社会とのつながりを回復し、就労支援や生活支援等の支援を受けることができる。

事業の特徴

公認心理師または臨床心理士によるアウトリーチ型の専門相談を実施(出張相談及びウェブ個別相談)

連携団体

つながりサポート団体等連絡会議

事業の効果

心理的ケアが必要な女性に対して、公認心理師による専門相談を実施(全77件)。

今後の課題

公認心理師の出張相談に対するニーズが高いため、今後も継続実施するための財源の確保が課題。

女性と社会のつながり支援

コロナ禍において不安を抱える女性が、社会とのつながりを回復することができるよう、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援を実施。

(1) アウトリーチ型の専門相談の実施

公認心理師又は臨床心理士が対応。

子ども食堂や大学などに出向いての出張相談やウェブ個別相談を実施。

(2) 専門相談新設に伴う広報の実施

9月から11月にSNS広告及び交通広告を集中的に実施。

この間、街頭や子ども食堂での声掛け回数を増やして実施。